

ふくじゅそう

2014
11
No.28



病院の理念 地域とともに世界を視野に
信頼される最善の医療を

 福岡赤十字病院
日本赤十字社

人間を救うのは、人間だ。



国内災害救護



国際活動



救急法等講習



医療事業



看護師等の教育



血液事業



赤十字ボランティア



青少年赤十字



社会福祉

日本赤十字社のマスコットキャラクターをご存知ですか!?
この春、日赤の公式マスコットキャラクターが誕生しました。その名も「ハートちゃん」。赤十字の職員として働いています。苦しんでいる人を救いたいという想いを胸にハートランドからやってきた、熱く優しい心をもったトラです。

ハートちゃんの特長

1. 苦しんでいる人の声をキャッチする大きなハート型の耳
2. トラだけど草食系。好きな食べ物はハート型のさくらんぼ
3. 9つの事業に合わせているいろいろなコスチュームに着替えます。(表紙の絵に9つの事業を記載しています)

循環器内科

循環器内科部長 目野宏

平成7年9月にCCU、心臓カテーテル検査・治療室が整備され、チーム医療の可能な循環器内科が発足いたしました。現在では当院救急部と連携し、24時間体制で循環器疾患の救急患者の診療が行われています。

平成24年にCCU、心臓カテーテル検査・治療室は新病院の集中治療室の中に移動し、救急患者は救急外来から速やかにCCUへの搬送ができるようになりました。

現在、循環器疾患に関する医療機器は、心臓血管超音波診断装置(4台)、ABI測定装置、ガンマーカメラ(心臓核医学診断装置)、心臓血管専用CT検査装置(64列、128列スライス)、MRI診断装置、2台の心臓血管造影装置が整備されており、それらを駆使し、日々の診療にあたっております。

疾患毎に昨年の診療実績と診療内容を提示いたします。

①虚血性心疾患:急性心筋梗塞は94例で、殆どの症例においてカテーテル治療や冠動脈バイパスの血行再建術を行いました。急性心梗塞症の平均在院日数は約14日です。心臓カテーテル治療による血行再建術272例、冠動脈バイパス術によるそれは22例でした。

②心不全:現在の日本において心疾患の死因の中で急性心筋梗塞と並びその1/3を占めるようになっています。昨年は225例の急性心不全の入院があり



心臓カテーテル治療作業室

ました。その原因疾患としては、高血圧性心疾患と虚血性心疾患が大半を占めています。薬物療法に加え、早期に運動療法による心臓リハビリをおこない、可能ならば外来通院によるリハビリを行っています。

③不整脈:上室性の頻脈性不整脈に対して、カテーテルアブレーション治療を行っています。

以上のように急性期の管理から慢性期のリハビリまで行っておりますが、自宅に退院できる患者さんは、かかりつけの先生、当院医師、薬剤師、理学療法士、看護師らが連携をとり、包括的医療を展開していく必要性があります。また、自宅や療養施設に戻れない患者さんにおいても、転院後も上記治療の継続が必要です。

地域の先生方のご協力が必要となりますので、よろしくお願い申し上げます。



循環器内科チーム職員一同

平成25年度診療実績

入院患者数	1,192名
急性心筋梗塞患者数	94名
心エコー件数	9,069例
核医学検査	633例
冠動脈CT/大血管CT検査	195/721例
経皮的冠動脈形成術	275例
経皮的末梢血管形成術	149例
永久ペースメーカー埋め込み術	75例
カテーテルアブレーション	32例

呼吸器内科

呼吸器内科部長 高木陽一

当科では気管支鏡検査を用いた胸部異常陰影の診断、肺癌の治療、呼吸不全の人工呼吸管理、気管支喘息や慢性咳嗽の診断と治療を中心として、呼吸器感染症、COPD、間質性肺炎、胸膜炎、慢性咳嗽など呼吸器疾患全般にわたって診療を行っています。特に急性呼吸不全の人工呼吸管理と肺癌診療に力を入れております。(表)は昨年度の疾患別入院患者数を示しております。肺癌と呼吸器感染症(肺炎等)の患者数が一番多く、気管支喘息、胸膜疾患(胸水の精査・気胸等)、慢性閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患(間質性肺炎等)がそれに続きます。

○呼吸器疾患の最近の話題

肺癌:日進月歩で遺伝子検査を中心とした新しい検査、治療が進歩しています。気管支鏡で癌細胞や癌組織を採取し、必要であれば遺伝子検査を行い、結果により抗癌剤を使い分けております。近い将来にはオーダーメイドに近い治療が開発されるはずです。当科でもEGFR遺伝子、ALK遺伝子の検査を行い、治療に役立てております。

呼吸器感染症:呼吸不全を伴う重症肺炎を中心に入院治療を行います。最近、人工呼吸管理の適応とならない、ADLの低下した御高齢で認知症の誤嚥性肺炎の患者様が増加し、対応に苦慮しております。肺非結核性抗酸菌症の増加も目立ちます。環境常在菌であり、他人に伝染することはありませんが、薬が効きにくいことも多いため、検査結果をふまえ患者様と相談しながら、治療方針を決めております。

気管支喘息:ステロイド吸入治療が普及し、全体として喘息発作での入院は減少傾向にあります。逆に、大人になってからの初発の気管支喘息が散見され、初期の治療が遅れたため重篤な発作となり搬送される事例も経験致します。適応症例では、抗IgE抗体治療も行っております。

慢性閉塞性肺疾患:禁煙が基本で、吸入薬等で治療を行います。禁煙外来を行う医療機関も増え、積極的に紹介しております。適応症例には、在宅酸素療法の導入、1~2週間の呼吸器リハビリ入院も行っております。

間質性肺炎:膠原病に合併するもの、薬剤によるもの、原因は様々ですが、原因が分からない場合も多いです。特発性肺線維症に対しては、ピルフェニドン内服治療も行っております。

慢性咳嗽:8週間以上咳が続く慢性咳嗽の患者様が増加しております。胸部CT、肺機能検査、喀痰抗酸菌検査等で精査されるも異常所見がない場合も多く、症状や経過から、咳喘息、アトピー咳嗽、胃食道逆流、副鼻腔気管支症候群、感染後咳嗽、等を鑑別に考え、診断的治療をします。

○呼吸器科での検査
気管支鏡:気管気管支内腔の確認と、鉗子やブラシを使用した、経気管支肺生検・細胞診を行います。気道の麻酔を行い、5mm程度の細いファイバーを口から気管支に挿入します(写真)。当院では入院で、水曜日と金曜日に行っております。

肺機能検査:慢性閉塞性肺疾患では、気管支拡張剤の吸入前後の肺機能を測定し、診療の参考にしております。外来で施行できます。

○当科の診察日

外来は、月・水・金(受付は11時まで)に診療を行っております。入院は8階西病棟を中心に診療に当たっております。重症の呼吸不全で人工呼吸が必要な場合はICUでの治療となります。

今後とも様々な疾患に対し、最新の検査と治療ができるよう努力して参りますので、よろしくお願い致します。

胸水検査:胸水精査依頼の事例が多く、全身状態に問題なければ、外来で日時を調節し胸水試験穿刺を行っています。



気管支鏡検査

(表)呼吸器内科入院患者の疾患別内訳
2013年度

退院総数(のべ患者数)	423
肺癌/肺癌疑い	137
呼吸器感染症	137
気管支喘息	40
胸膜疾患	22
COPD(慢性閉塞性肺疾患)	16
びまん性肺疾患	11
気胸	10
縦隔腫瘍	7
悪性胸膜中皮腫	4
その他	39

訪問看護 ステーションの 紹介



当訪問看護ステーションは、看護師12名（うちケアマネージャー7名）の大規模な事業所です。福岡赤十字病院の敷地内にあり、外来患者の在宅相談や入院患者の退院支援など、院内の在宅支援に大きな役割を担っています。

ケアプランセンターも併設しており、平成26年度は機能強化型訪問看護ステーションとして登録しました。

がん看護専門看護師である管理者のもと、がん患者の在宅療養支援や在宅看取りを積極的に行っています。平成25年度の在宅看取り件数は51件で、うち独居患者の在宅看取り支援も4件実施しました。

特に、ケアマネージャーと看護師が兼務で動くため、急速な病状の変化をキャッチしながら、療養環境調整や生活支援などに素早く対応することができます。

他にも、慢性疾患や認知症のケアはもちろん、小児・

障害児の在宅療養支援など手広く支援を行っています。例えば、頻回に救急搬送されていた肝性脳症の方が、訪問看護が予防的に介入することで病状が安定した事例や、認知症の高齢世帯の在宅支援で、インスリンやストマケアなどの医療処置が実施できるよう介入した事例もあります。

在宅困難と思われるケースでも、地域のかかりつけ医の先生方や、様々な事業所と連携をとりながら、知識や経験を活かして取り組んでいます。

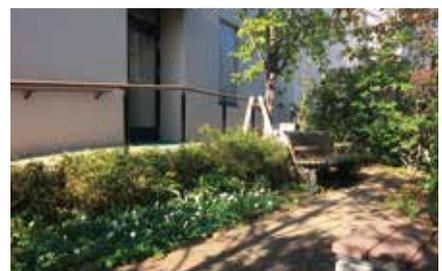
訪問看護の依頼は、福岡赤十字病院以外にも、福岡市内外の急性期病院や、他のケアプランセンター・地域包括支援センターなど、様々な方面からお受けしています。在宅療養支援に関してお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



訪問看護用車両を11台整備して迅速に対応しています。



訪問看護STの管理者の井手です。訪問看護に関してお困りのことがありましたらお気軽にお電話ください。



訪問看護ステーション横にゆったりスペース「いこい」も完備!

訪問看護に関する問合せ先 TEL.092-521-2366 (直通)

福岡赤十字病院の
国際活動
International activity

日本赤十字社は、人道支援機関として、国境・民族・宗教を超えてあらゆる支援を行っています。福岡赤十字病院は日本赤十字社等の依頼を受け、ミャンマー紛争犠牲者救援事業とウガンダ北部医療支援事業に派遣しています。

ミャンマー紛争犠牲者救援事業

赤十字国際委員会(以下ICRC)からの要請に基づき、ミャンマー連邦共和国カチン州における、ICRCが支援する病院等において看護師・助産師としてアセスメント及び技術指導を担当しています。

派遣者:井ノ口美穂看護係長(助産師)
派遣期間:平成26年7月11日~平成27年1月16日(予定)
派遣場所:ミャンマー連邦共和国 カチン州



右から4番目が井ノ口看護係長

ウガンダ北部医療支援事業

アフリカ東部に位置するウガンダ共和国では、北部地域で20年にわたる内戦が続いていました。内戦は2008年に終息し、多くの国内避難民がもとの地域へ帰還しつつありますが、同国北部のアチョリ地区では、教育・医療をはじめとする社会基盤の整備は不十分で、いまだ復興途上の状態にあります。

カロンゴ病院はこの地区のうち、パデル・アガゴの2県で唯一の病院で、約80万人の医療をカバーしていますが、これまで外科専門医がいませんでした。日本赤十字社は、ウガンダ赤十字社を通じてこの病院の外科支援を要請され、2010年4月から全国の赤十字病院の医師を継続的に派遣しています。



ウガンダに派遣された際の現地での写真

また2013年からは看護師・薬剤師・診療放射線技師に職種を拡大して、支援事業を継続しています。

派遣者:井上重隆外科医師……①
川口真由美看護師……②
派遣期間:平成26年8月22日~平成26年11月30日…①
平成26年9月15日~平成27年2月8日…②
派遣場所:ウガンダ共和国 アチョリ地区 アガゴ県
カロンゴ病院(両名とも同病院に派遣)



前列左から2番目が川口看護師、3番目が井上医師

皆さまの温かい募金等により派遣されていますので今後ともご協力よろしく申し上げます。

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○：新患若しくは再来 ▲：午後再来(予約のみ) ●：(予約のみ) 平成26年10月2日現在

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
総合診療科	澤山 泰典	○	●	▲	○	○	内科一般・生活習慣病・睡眠時無呼吸症候群	部長
	畑島 梓	○	○	○	○	○		
消化器内科	平川 克哉	○	○	○	○	○	消化管(食道・胃・大腸)	部長
	工藤 哲司	○	○	○	○	○		
	藤岡 審	○	○	○	○	○		
	川本 徹	○	○	○	○	○		
	平田 敬	○	○	○	○	○		
腎臓内科	吉田 雄一朗	○	○	○	○	○	腎臓	副院長 部長 副部長
	平方 秀樹	○	○	○	○	○		
	満生 浩司	○	○	○	○	○		
	四枝 英樹	○	○	○	○	○		
	黒木 裕介	○	○	○	○	○		
	中川 兼康	○	○	○	○	○		
糖尿病・代謝内科	濱野 直人	○	○	○	○	○	糖尿病	部長 副部長
	荒瀬 北斗	○	○	○	○	○		
	吉田 祐子	○	○	○	○	○		
	筒 信隆	○	○	○	○	○		
	佐々木 伸浩	○	○	○	○	○		
内分泌内科	菊池 洋平	○	○	○	○	○	内分泌・糖尿病	部長
	川井 希実	○	○	○	○	○		
循環器内科	中川 瑞穂	○	○	○	○	○	内分秘・糖尿病 循環器 循環器(兼CCU担当部長)	部長 副院長 部長 部長 副部長 副部長
	稲生 哲治	○	○	○	○	○		
	目野 宏	○	○	○	○	○		
	古財 敏之	○	○	○	○	○		
	堺 浩二	○	○	○	○	○		
	林谷 俊児	○	○	○	○	○		
	池田 次郎	○	○	○	○	○		
	栗林 祥子	○	○	○	○	○		
本田 修浩	○	○	○	○	○			
呼吸器内科	池田 宗一郎	○	○	○	○	○	呼吸器一般	部長
	高木 陽一	○	○	○	○	○		
	河口 知允	○	○	○	○	○		
肝臓内科	白石 祥理	○	○	○	○	○	肝疾患一般	部長 副部長
	渡邊 洋	○	○	○	○	○		
	西澤 新也	○	○	○	○	○		
血液・腫瘍内科	久能 志津香	○	○	○	○	○	血液疾患一般、固形腫瘍の化学療法※水曜日は交替制	部長
	谷本 一樹	○	○	○	○	○		
脳血管内科	坂本 佳治	○	○	○	○	○	脳卒中	部長
	藤井 健一郎	○	○	○	○	○		
	後藤 聖司	○	○	○	○	○		
	喜友 名扶弥	○	○	○	○	○		
	高木 勇人	○	○	○	○	○		
膠原病内科	桑野 幸	○	○	○	○	○	膠原病	部長
	井上 靖	○	○	○	○	○		
感染症内科	大塚 友希実	○	○	○	○	○	感染症一般※水曜日は隔週	部長
	石丸 敏之	○	○	○	○	○		
外科	斧沢 京子	○	○	○	○	○	一般外科、 消化器、肝胆脾外科、 内分泌外科(乳腺・甲状腺等)、 腹腔鏡下、胸腔鏡下手術、 腎移植、腎不全外科、 ERCP、PTCD、EST、 呼吸器、肛門外科	院長 副院長 部長 部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長
	寺坂 禮治	○	○	○	○	○		
	中房 祐司	○	○	○	○	○		
	本山 健太郎	○	○	○	○	○		
	小島 雅之	○	○	○	○	○		
	橋爪 健太郎	○	○	○	○	○		
	山元 啓文	○	○	○	○	○		
	井上 重隆	○	○	○	○	○		
	家永 淳	○	○	○	○	○		
	森 泰寿	○	○	○	○	○		
	寺坂 壮史	○	○	○	○	○		
	中村 聡	○	○	○	○	○		
	奥田 翔	○	○	○	○	○		
久留 裕	○	○	○	○	○			
心臓血管外科	河野 博之	○	○	○	○	○	心臓外科、 大動脈瘤、血管外科	副院長 部長
	宮本 和幸	○	○	○	○	○		
	森重 翔二	○	○	○	○	○		
脳神経外科	繼 仁	○	○	○	○	○	脳神経外科疾患(兼HCU担当部長)	部長 部長
	吉岡 努	○	○	○	○	○		
	平田 陽子	○	○	○	○	○		
	榎本 年孝	○	○	○	○	○		

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬、 アトピー性皮膚炎	部長 副部長
	加来 裕美子	○	○	○	○	○		
眼科	山中 一郎	○	○	○	○	○	一般、糖尿病性網膜症、 白内障、緑内障 (再来は完全予約制)	部長
	吉山 慶三	○	○	○	○	○		
	奈田 育子	○	○	○	○	○		
整形外科	泊 真二	○	○	○	○	○	脊椎・脊髄外科 関節外科・リウマチ・腫瘍 リウマチ・関節外科 膝関節・脊椎外科一般 外傷一般 外傷一般	部長 部長 副部長
	伊藤 康正	○	○	○	○	○		
	瀬尾 健一	○	○	○	○	○		
	由布 竜矢	○	○	○	○	○		
	安原 隆寛	○	○	○	○	○		
	堀田 謙介	○	○	○	○	○		
産婦人科	木村 敦	○	○	○	○	○	産婦人科 産婦人科 産婦人科 産婦人科 産婦人科 産婦人科	部長 部長 副部長
	西田 眞	○	○	○	○	○		
	遠城 幸子	○	○	○	○	○		
	衛藤 貴子	○	○	○	○	○		
	北出 尚子	○	○	○	○	○		
	蜂須賀 正紘	○	○	○	○	○		
小児科	松下 知子	○	○	○	○	○	循環器 腎疾患 一般・腎疾患 一般・神経 一般・新生児 一般 神経 循環器(第1金曜日午後のみ)	部長 部長
	松尾 愛	○	○	○	○	○		
	高杉 篤志	○	○	○	○	○		
	原田 達生	○	○	○	○	○		
	波多江 健	○	○	○	○	○		
	檜山 麻衣子	○	○	○	○	○		
耳鼻咽喉科	高田 結	○	○	○	○	○	頭頸部外科、 鼻内視鏡手術、 一般(再来は完全予約制)	部長 副部長
	慶田 裕美	○	○	○	○	○		
	前原 健二	○	○	○	○	○		
	非常勤(神経再来)	○	○	○	○	○		
	非常勤(循環器再来)	○	○	○	○	○		
形成外科	福島 淳一	○	○	○	○	○	再建外科・外傷・先天性疾患	部長
	後藤 健	○	○	○	○	○		
泌尿器科	柚木 貴和	○	○	○	○	○	尿路結石、排尿機能障害、 尿路性器腫瘍、尿路感染症、 腹腔鏡手術	部長 副部長
	正岡 寛之	○	○	○	○	○		
	小林 聡	○	○	○	○	○		
	池ノ上 俊	○	○	○	○	○		
精神科	芝田 寿美男	○	○	○	○	○	一般・行動療法・強迫性障害 (新患、再来ともに完全予約制)	副部長
	非常勤	○	○	○	○	○		
歯科・ 歯科口腔外科	左坐 春喜	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科 (再来は完全予約制)	部長 副部長
	樺山 哲郎	○	○	○	○	○		
放射線科	徳 鉦	○	○	○	○	○	検査依頼(CT・MRI・RI等)のみ・電話予約制	部長 副部長
	井上 昭宏	○	○	○	○	○		
	佐藤 芳子	○	○	○	○	○		
	和田 憲明	○	○	○	○	○		
	眞鍋 裕介	○	○	○	○	○		
麻酔科	江口 明	○	○	○	○	○	術中管理 術中管理(兼ICU担当部長) 術中管理	部長 部長 副部長
	迎 雅彦	○	○	○	○	○		
	堀江 利彰	○	○	○	○	○		
	権文 緑	○	○	○	○	○		
	津田 幸毅	○	○	○	○	○		
	名西 紀子	○	○	○	○	○		
病理診断科	馬場 麻理子	○	○	○	○	○	人体病理一般	部長 部長
	松下 亜希	○	○	○	○	○		
	西川 文	○	○	○	○	○		
	秋吉 瑠美子	○	○	○	○	○		
	平野 芳枝	○	○	○	○	○		
救急科	中山 豊	○	○	○	○	○	救急(各種中毒疾患含む) 救急(各種中毒疾患含む)	部長 部長
	西山 憲一	○	○	○	○	○		
	友尻 茂樹	○	○	○	○	○		
	荒武 憲司	○	○	○	○	○		
	皆川 雄郷	○	○	○	○	○		
	川原 加苗	○	○	○	○	○		
健診部	松本 明子	○	○	○	○	○	循環器	部長
	浦江 晋平	○	○	○	○	○		

●受付時間 月曜日～金曜日(初診)8:10～11:00(再診)7:40～11:00

呼吸器内科	(初診・再診) 月・水・金のみ
心臓血管外科	火・木のみ 9:00～11:00
脳神経外科	(初診・再診) 水曜日は手術日とさせていただきます
皮膚科	(初診) 月 8:10～10:00(火～木は通常通り)
	(再診) 完全予約制
眼科	(初診) 火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(再診) 完全予約制
整形外科	木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	火曜日は手術日とさせていただきます
産婦人科	(初診) 火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(再診) 火・木 7:40～10:00(月・水・金は通常通り)
	(初診) 火・木 8:10～10:00(月・水は通常通り)
耳鼻咽喉科	金曜日は予約のみとさせていただきます
	(再診) 完全予約制
形成外科	(初診・再診) 月・水・金のみ(完全予約制)
精神科	(初診) 月・水のみ(完全予約制)
	(再診) 完全予約制
歯科	(再診) 完全予約制

急患の方はこの限りではございません。

●診療開始時間……午前8時40分

●平日時間外及び休日急患診療(当直体制)

- ◎内科系※ ◎外科系※ ◎循環器科 ◎産婦人科
- ※当直体制のため必ずしも専門医の診療は受けられないことがありますのでご了承ください
- ◎小児科 平日(祝日を除く) 17時～19時30分
- 土曜日(祝日を除く) 13時～19時

[備考] 急患以外の一般の患者さんにつきましては、土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)は休診日です

再来は原則予約制です。出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。
☎092-521-1211(代表)

患者さんの紹介につきましては地域医療連携室で承ります。
(時間外・土日祝日につきましては夜間受付に切り替えて24時間体制でお受けします)
専用TEL ☎0120-521-993 専用FAX ☎0120-521-992